

報道関係者各位

2026年4月3日
株式会社ワークスアプリケーションズ

WAP、実行支援型サービスブランド「OXYG」を始動 日本企業の「労働力不足による酸欠」に、成長の酸素を

株式会社ワークスアプリケーションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO:秦修、以下 WAP)は、新たなサービスブランド「OXYG(オキシグ)」を始動します。OXYGは、30年にわたり日本の大手企業を支えてきたWAPの業務理解と、進化するテクノロジーを融合させ、企業の持続的な成長に徹底的に伴走する新たなサービスモデルです。



背景:日本企業が直面する構造的な「酸欠」状態

現在、日本社会は人口減少と少子高齢化の進行により、2040年には1,100万人の労働供給が不足すると予測されています(※1)。人材不足が常態化するなか、企業はテクノロジーの活用を迫られていますが、単なるツールの導入だけでは、この「酸欠」は解消できません。

真の解決には、業務プロセスの見直しを含め、テクノロジーが業務の中で生きる基盤を整備し、変革し続ける仕組みづくりが必要不可欠です。

新ブランド「OXYG」が提供する価値

OXYGは、AIをはじめとする先端テクノロジーと、WAPが培ってきた深い業務理解を融合させ、3つの領域を通じて、企業変革を推進する仕組みを実装します。

- ・「構想・設計・実行」を分断しない伴走支援

アドバイスやシステム導入にとどまらず、構想から実行までをワンストップで支援します。

- ・テクノロジー前提の業務再設計(BPR)

既存業務の単なるデジタル化ではなく、人とデジタルの役割を再定義し、お客様とともに業務そのものの再設計に取り組みます。

- ・経営と現場をつなぐ推進構造の設計

変革を自走させる、経営と現場が連動した組織体制と運用プロセスを共創します。

ブランド名称の由来

OXYG=Optimized eXpertise for Your Growth

企業の成長(Growth)に不可欠な専門知(eXpertise)を最適化(Optimized)して届けるという意味を込めました。生命活動に欠かせない“酸素(oxygen)”のように、日本企業の変革を進めるための「エンジン」となることを目指します。

WAPの新たな事業軸として

WAPはこれまで、ERPパッケージ提供を通じて国内大手企業の業務標準化を支援してきました。今回、従来のプロダクト事業に加え、この「OXYG」を新たな事業軸として確立し、お客様の企業変革をより広範かつ強力に支援してまいります。

※1 出典:リクルートワークス研究所「未来予測2040 労働供給制約社会がやってくる(2023年3月)」

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-3512-1400 FAX:03-3512-1401 Email:pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当